

The★看護

今回担当の感染管理からは、職業感染対策として医療者への実施が推奨されているワクチンと、当院の対応状況を紹介いたします。

「※医療関係者のためのワクチンガイドライン第3版」掲載ワクチン	不活化ワクチン	B型肝炎ワクチン	■対象者と自己負担の有無 ・事務職以外の病院職員、自己負担なし ■接種時期と接種回数 ・通年 ・血液検査結果(抗体値)、6回までの接種記録の有無から個別に接種スケジュールを組み立て対応しています	当院でも対応中
	注射生ワクチン	麻しん風しん混合ワクチン おたふくかぜワクチン 水痘ワクチン	■対象者と自己負担の有無 ・全病院職員、自己負担なし ■接種時期と接種回数 ・通年 ・血液検査結果(抗体値)、各2回までの接種記録の有無から個別に接種スケジュールを組み立て対応しています	当院でも対応中 ※生ワクチンにつき、妊娠期間は接種不可
	不活化ワクチン	インフルエンザワクチン	■対象者と自己負担の有無 ・全病院職員、自己負担なし ■接種時期と接種回数 ・毎年11月ごろに、1回	当院でも対応中
	トキソイド	破傷風トキソイド	■対象者と自己負担の有無 ・DMAT隊員、自己負担なし ■接種時期と接種回数 ・通年 ・3回までの接種記録の有無から個別に接種スケジュールを組み立て対応します	当院でも対応中
	mRNAなど	新型コロナワクチン	■対象者と自己負担の有無 ・全病院職員、ワクチン費用(約12000円)部分は自己負担 ■接種時期と接種回数 ・(今年度より対応開始)11月ごろに、1回	当院でも対応中
	不活化	髄膜炎菌ワクチン	～ガイドライン記載の推奨理由～ 髄膜炎菌は容易にヒトからヒトへと感染する。医療関連施設で働く者は個人の感染予防に加え、他者に伝播させないためにワクチン接種が推奨される	
	不活化	百日咳ワクチン	～ガイドライン記載の推奨理由～ 医療関係者(特に産科病棟スタッフ、新生児・乳児をケアするスタッフ、妊娠中の母親や入院中の新生児・乳児と直接接触する医療関係者)はワクチン接種が推奨される	
	不活化	带状疱疹ワクチン	～ガイドライン記載の推奨理由～ 带状疱疹患者は水痘带状疱疹ウイルスの感染源となり、医療関係者は他者への感染伝播を防ぐためにも発症予防のワクチン接種が推奨される	

※「医療関係者のためのワクチンガイドライン 第3版」一般社団法人日本環境感染学会 令和2年7月27日発行

■今現在、実施中のこと

- ・今年度採用病院職員に対し、B型肝炎ワクチン・麻しん風しん混合ワクチンなど生ワクチン接種
- ・委託医療事務職員に対し、麻しん風しん混合ワクチンなど生ワクチン接種
- ・委託中央材料室職員に対し、B型肝炎ワクチン接種

※費用負担について。病院職員は病院負担、委託職員は会社負担で実施

■年内の計画

- ・今年度は、インフルエンザワクチンに加え、新型コロナワクチンも希望職員に接種できるよう準備をすすめています

